

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">日本文学史Ⅱ</p>	<p>対象学科・学年 教育教福2回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">東 典幸</p>
<p>授業テーマ 日本近代文学</p>		
<p>授業の概要と目標 明治から昭和前期後期までの日本の詩や小説を知る。</p>		
<p>評価方法 受講者が多ければ試験やレポート。少なければ出席。いずれの場合も授業態度を加味する。</p>		
<p>テキスト プリントを配布。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 最初の近代詩。 『新体詩抄』『於面影』。</li> <li>2. 最初の小説。 坪内逍遙「当世書生気質」、二葉亭四迷「浮雲」。</li> <li>3. 自然主義の始まり。 島崎藤村「破戒」、田山花袋「蒲団」。</li> <li>4. 私小説の流行。 葛西善蔵「哀しき父」、夏目漱石「道草」。</li> <li>5. 口語自由詩の完成。 高村光太郎、萩原朔太郎。</li> <li>6. プロレタリア文学。 葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」、小林多喜二「一九二八年三月十五日」。</li> <li>7. 新感覚派。 横光利一「花園の思想」、川端康成「眠れる美女」。</li> <li>8. 四季派。 三好達治、中原中也、立原道造。</li> <li>9. 戦争協力と抵抗。 高村光太郎、三好達治、与謝野晶子、金子光晴。</li> <li>10. 戦後文学1。 野間宏「真空地帯」、大岡昇平「俘虜記」。</li> <li>11. 戦後文学2。 太宰治「人間失格」、三島由紀夫「金閣寺」。</li> <li>12. 第三の新人。 安岡章太郎「悪い仲間」、遠藤周作「沈黙」。</li> <li>13. 女性詩人の台頭。 石垣りん、茨木のり子、吉原幸子、白石かずこ。</li> <li>14. ポストモダンの風潮。 村上春樹「1973年のピンボール」。</li> <li>15. ポストモダンの感覚。 山田詠美「ベッドタイムアイズ」。</li> </ol>		